

# 七小校長室便り

国立市立国立第七小学校

校長室便り No.3 令和3年(2021年)7月19日

## 夏季休業に入ります。

1学期も明日の終業式の日を残すのみとなりました。お陰様をもちまして、令和3年度の1学期を学校休業することなく終えるところとなりました。保護者や地域の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝申し上げます。ありがとうございます。夏季休業中においても、子供たちが元気に健康で、楽しい日々を過ごすことができますよう、ご家庭及び地域におきまして引き続き安全と安心のためのそれぞれの取組をお願いいたします。



本校においては、来週の7月26日(月)から1週間、個人面談を設定しております。各担任とは、日頃、お話をしたり、お話をお聞きしたりできないところもあるかと思えます。2学期に向け、各ご家庭と担任が情報を交換したり共有したりして、同じ方向に向かって子供たちの各学年における成長のゴールへと進めてまいります。お忙しいところではございますが、何卒ご協力の程、よろしくをお願いいたします。(ただし、決して無理はされませんように。)

また、今夏は、賛否両論ありますが、オリンピック・パラリンピックが開催されます。本市は、児童の安全を第一に考え、学校連携観戦は行わないことをお知らせしました。ただ、この機会を通して、各ご家庭においては、世界の一流アスリートたちの演技や競技をテレビ等で観戦したり応援したりして、日本で開催される世界的なイベントを子供たちの記憶に残してほしいと思えます。

私の生まれた年は、前回の東京オリンピックが開催された年でもあり、人生で2度めの体験となります。この機会を私なりに大切に、これからの私自身の何らかの原点にしてまいりたいと考えています。先生方には話をしておりますが、私の行動や取組には、おおむね意図的な考えがあり、先生方にも知っていただき共有してほしいと話しています。楽しみながらですが、自分なりの視点をもって観戦するなど、3度めはないであろうこの機会を意図的に迎えてまいります。

## 教育活動の変更点等について

今年度においてもコロナ禍における社会情勢や緊急事態宣言、または、まん延防止重点措置等の発出により、教育活動の変更を余儀なくされているところです。また、児童をはじめ保護者の皆様、地域の皆様にも多くのご理解をいただいている中で、様々な工夫の下での実施であったり、日程変更が可能な状況下での延期としたり、時には中止などの判断もさせていただいております。

内容として、学校全体に及ぶものもあれば、各学年の取組に影響を及ぼすものもあります。ここでは、国立第七小学校全体としてご理解いただきたい内容をお知らせし、情報を共有させていただきます。

### ① 第6学年の移動教室の日程変更について

当初の予定であった令和3年6月16日(水)～6月18日(金)の移動教室については、**令和3年12月10日(金)～12日(日)へと延期**となりました。

緊急事態宣言下における取組については、『実施日に目的地または東京都に緊急事態宣言が発出されている場合、またはその後、実施日に目的地または東京都に緊急事態宣言が発出された場合は、原則延期または中止とする。(抜粋)』との本市教育委員会からの通知等により、協議・検討した結果、上記の日程で行う予定となっております。

6年生の児童及び保護者の皆様には、延期についてのご理解をいただき、12月に向けての取組を展開しているところです。校長として、今回は実施できるように願ってやみません。

### ② 第5学年の野外体験教室について

本校の第5学年の野外体験教室は、夏季休業中の令和3年8月19日(木)・20日(金)に実施予定でしたが、4回目の緊急事態宣言が発出され、本校においては緊急事態宣言下の日程となり、移動教室の場合と同じように教育委員会からの通知による延期または中止を検討しなければならなくなりました。

過日、緊急事態宣言の期間後において宿泊先や見学先等の実施可能な状況が分かり、校長会と本市教育委員会で協議・検討した結果、令和3年8月25日(水)・8月26日(木)に延期といたしました。野外体験教室においても、5年生の児童及び保護者の皆様のご理解をいただきながら、実施に向けて準備しているところです。

ただ、緊急事態宣言の期間が実施日程と近いところもあり、緊急事態宣言の延長等により、中止等の協議や検討を行うことも考えられますので、その際にはご了承いただきますようお願いいたします。5年生においても、実施ができることを切に願っております。

### ③ 今年度の水泳指導の終了について

昨年度実施できなかった水泳指導については、新しい学習指導要領の下で実施することができました。保護者の皆様には、ご準備や取組についてのご理解をいただき、感謝申し上げます。全学年とも水泳指導における学習予定を終えることができましたので、**今年度の水泳指導は、一学期で終了といたしました。**(夏季休業中の水泳指導の中止は以前お知らせしております)

特に今年度においては、コロナ禍における感染症対策に重点を置きました。児童の着替えの場所をプールの更衣室から教室に変更し、密にならないようにしました。プールサイドでは、児童の間隔を空けるためのラインを引き、マスクを外した状態で実施可能な環境としました。更には、熱中症対策を重ねて行うことも求められており、昨今の気象変動における梅雨から夏の暑さは、これまでの常識は通用しないものとなっています。水泳指導中の脱水においては、本人にも周りの指導者においてもなかなか発見が難しいところです。暑さ指数が高い状況では実施しないなど、水泳指導における環境変化に対応した取組を行っています。

また、新しい学習指導要領では、児童の水に対する安全における指導が大切なポイントともなっており、水の事故等、いざという時に水を恐れずに対処する力を付ける指導も求められています。長く泳げることや早く泳げること、水泳指導においては大切にすることがありますが、全ての児童が水に親しみ、安全に安心して泳げるように、次年度を見通しながら工夫した指導を考えてまいります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

## 校長のつぶやき



### 「思う」ということ



今年度の運動会において、私が心配をしていたことは、暑さ対策です。コロナ禍の対応においては、感染症対策のガイドラインやこれまでの知見に従って取り組むことができましたが、熱中症等の暑さ対策においては、予期することが難しい自然現象が相手となり、難しい対応となっています。

私としては、運動会の数週間前から天候を気にしながらも、当日の天候について、心に思い描いていたことがあります。天候として思っていたこととは、暑くもなく、かといってどんよりとした曇り空でなく、晴れ間も見える天気となってほしいとの思いです。何とわがままな思いかとは思いますが、かなり真剣に思っていました。

しかし、思いとは裏腹に、当日の予報は、暑くなり、いい天気となるという天気予報が出ていました。教員になりたての頃の自然環境であれば、申し分ない天気予報であり、教員としても当日をワクワクしながら迎えたことと思います。現在においては、よい天気を喜ぶ前に、暑くなりすぎないか、熱中症対策はどうするか、そして、今はコロナ禍の対応もプラスされる状況にあって、数十年前まで考える必要がなかったことが現実に起こっており、学校のこれからの在り方も問われているように思われます。

さて、話を元に戻しますが、そして、当日の天気はどうだったかという、これが何と、思い描いていた通りの天気で行うことができたのです。当日の朝、カメラマンの方と話をした時にも、思い描いていた天気で終わられるといいですねと、話をしたくらいに、ずっと思い続けていました。お陰様で、熱中症も心配することなく、コロナ禍の対応においても問題なく進めることができ、今年度の運動会を無事に終わられました。

終えてから思ったことの1つとして、実際にどうなるかは、なかなか思う通りにはならないことではありますが、「思いをもって、思い続けること」によって、自分自身の成功体験の1つになり得るということです。これには、ポジティブな考えが前提かもしれません。

しかし、これからを生きる子供たちには、多くの成功体験を積んでほしいと願うと共に、そのための「自分の思い」がもてる子供たちを育てたいと改めて思っています。

